

2011 年度 鉄道事業設備投資計画 安全対策、サービス向上、環境対策、輸送力増強などに 207 億円 (※経済環境が大きく変化しているため、投資額を見直す可能性があります。)

- ・保谷駅の線路を 3 線化しました。(本年度実施済^{*1})
- ・所沢駅、椎名町駅、西武立川駅で駅舎改良工事を進めます。
- ・「Smile Train」30000 系を 16 両新造します。
- ・石神井公園駅付近の高架複々線化事業を引き続き進めます。

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:白山 進)では、より安全で快適なサービスを提供し、人にやさしい鉄道を目指しております。

2011 年度は総額 207 億円を投じ、安全対策、サービス向上、環境対策、輸送力増強などの鉄道事業設備投資を行います。ただし、今年度については、経済環境が不確定なため、状況によっては投資額を見直す可能性があります。

《今年度の主な鉄道事業における設備投資の概要》

○ 安全対策

鉄道事業では安全を最重要課題としてとらえており、輸送の安全確保のため、高架橋耐震補強や法面^{のりめん}の改良、変電所機器更新などの安全対策を中心に投資を行います。

また、保谷駅では線路を 3 線化することにより、駅付近の踏切の遮断時間が短くなるほか、電車の遅延防止を図ります。

○ サービス向上

駅の改良については、今年度は所沢駅、椎名町駅、西武立川駅の 3 駅で駅舎改良工事を進めます。所沢駅はショップエリアを拡充するなど、お客さまのニーズに合った快適なサービスを提供できる、明るく環境にやさしい駅を目指します。

車両更新では新型通勤車両「Smile Train」30000 系を 16 両(8 両 2 編成)新造します。東京メトロ有楽町線・副都心線に乗り入れる 6000 系車両には、液晶の車内情報配信装置の設置を進めてまいります。

○ 環境対策

新しい駅コンコースでは、節電やCO₂排出量削減のためにLED照明の導入を進めます。

○ 輸送力増強

池袋線・桜台駅(新桜台駅)～石神井公園駅間の高架複々線化事業のうち、残る石神井公園駅付近について引き続き工事を進めます。

詳細につきましては別紙のとおりです。

(別紙)

1. 安全対策

鉄道事業では、安全の確保を経営の最重要課題としてとらえています。鉄道事業者の責任として、高架橋耐震補強や法面改良、変電所機器更新などの安全対策投資に重点をおきます。

- 高架橋耐震補強
高架橋の健全度・耐震性能を高めるため、補強工事を進めています。今年度は狭山線の下山口～西武球場前間で工事を行います。
- 法面の改良
列車運行の安全確保のため、線路脇の法面を強固に改良することによって、土砂崩壊を防止します。今年度は、西武秩父線の吾野～西吾野間などで工事を行います。
- 変電所の機器更新
供給された電力を安定的に電車や鉄道施設に送るため、当社保有の老朽した変電所機器を順次更新しています。今年度は、小手指変電所の機器を一部更新するほか、池袋変電所の機器の更新を進めます。
- 保谷駅ホーム2面化・線路3線化（実施済：※¹2011年7月17日（日）より使用開始済）
保谷駅では、安全性・速達性・定時運転を確保するため、ホーム1面、線路2線の島式ホームであったのを、ホームを2面、線路を3線に改良する工事を2008年度から行っており、すでに昨年3月より新上りホーム（エレベーター1基とエスカレーター2基の設置を含む。）の供用を開始しておりますが、今年7月には折り返し線の使用も開始して線路を3線化としました。
これにより、朝の始発電車のホームを上りホームと分けることができ、ホーム上の混雑が緩和され、安全性が向上しました。また、折り返し線により上下両方向への折り返しが可能となり、電車の遅延防止（異常時の対応や東京メトロ有楽町線・副都心線乗り入れに対する影響防止）につながります。さらに、駅付近の踏切の遮断時間が短くなり、渋滞緩和などの効果もあります。

2. サービス向上

お客さまに快適にご利用いただける、人にやさしい駅と車両をめざして、駅舎の建て替えなどサービス向上の設備投資を進めます。

駅の改良については、今年度は所沢駅、椎名町駅、西武立川駅の3駅で駅舎改良工事を進めます。所沢駅はショッピングエリアを拡充するなど、お客さまのニーズに合った快適なサービスを提供できる、明るく環境にやさしい駅を目指します。

車両更新では新型通勤車両「Smile Train」30000系を16両（8両2編成）新造します。東京メトロ有楽町線・副都心線に乗り入れる6000系車両には、液晶の車内情報配信装置の設置を進めてまいります。

□ 駅舎の改良

○ 所沢駅

池袋線と新宿線が交差し、1日約21万人のお客さまにご利用いただいている所沢駅の駅舎建替工事については、2010年3月より着手しました。ホーム中央の線路上空に新しい駅舎をつくり、工事完成時には、現在2つある改札を1つに統合し、各ホーム及び西口・東口にエレベーター・エスカレーターが設置します。屋根にはテント幕を用いて自然光を取り入れ、駅コンコース・自由通路には多彩な店舗を設置します。子育て支援機能など、働く女性にとっても便利なサービスも計画しています。

新しい駅舎は2012年春頃に一部使用開始し、2013年春頃に連絡通路を含めて完成する予定です。



○ 椎名町駅

駅舎の橋上化を行い、南北自由通路・エレベーター4基・エスカレーター6基および多機能トイレなどを設置しバリアフリー化を図ります。2009年度より工事に着手し、橋上駅舎・自由通路の完成は2011年度、豊島区で行う歩行者広場などの整備は2012年度に完成予定です。なお、この事業は国および豊島区と共同で実施する、駅・まち一体改善事業により行っています。



○ 西武立川駅

駅舎の橋上化及び北口の開設を行い、南北自由通路・エレベーター3基・エスカレーター4基及び多機能トイレなどを設置しバリアフリー化を図ります。今年3月に橋上駅舎・自由通路の一部供用を開始しました。今年度中に旧駅舎・跨線橋を解体して工事が完了する予定です。なお、この事業は国および立川市から補助を受けて行っています。

□ 駅のバリアフリー化 など

整備施設	2011 年度整備駅
エレベーターの設置	椎名町 (4 基)、石神井公園 (1 基)、所沢 (4 基)
エスカレーターの設置	椎名町 (5 基)、石神井公園 (2 基)、所沢 (5 基)
多機能トイレの整備	椎名町、豊島園、上井草
お客さまご案内用オープンカウンターの整備	椎名町、石神井公園

□ 車両関係

○ 30000 系通勤車両を新造

「Smile Train～人にやさしく、みんなの笑顔をつくりだす車両～」をコンセプトに設計した 30000 系通勤車両の新造を、老朽車両の代替として進めています。これまでに 12 編成 78 両を新造しました。今年度は 16 両 (8 両 2 編成) を新造する予定です。

○ 6000 系車両情報配信装置設置

東京メトロ有楽町線・副都心線に乗り入れている 6000 系車両のドア上に、液晶の車内情報配信装置を 2 画面設置し、旅客情報案内や動画広告を表示するなど、お客さまへさまざまな情報を提供します。今年度は 5 編成に設置する予定です。

○ 2000 系車両バリアフリー化工事

車いすスペースの設置、車内表示器の設置などのバリアフリー化工事を 2000 系車両 4 編成 24 両に実施する予定です。

3. 環境対策

昨今、節電に積極的に取り組んでいる状況の中で、設備投資においては、新しい駅コンコースへの LED 照明の導入を進めています。

○ 駅コンコースの LED 照明化

LED 照明は消費電力が低く、CO₂ 排出量削減の効果が期待できます。

石神井公園駅や西武立川駅では、新しいコンコースに LED 照明を導入していますが、今年度も、所沢駅、椎名町駅のコンコースに LED 照明を採用します。

○ 車両用空調装置の更新

現在のクーラー冷媒として使用しているフロンがオゾン層を破壊するため、オゾン層を破壊せず、地球温暖化に対する影響が少ない代替フロンを使用したクーラーに置き換えています。今年度は 74 台の取り替えを行う予定です。

4. 輸送力増強

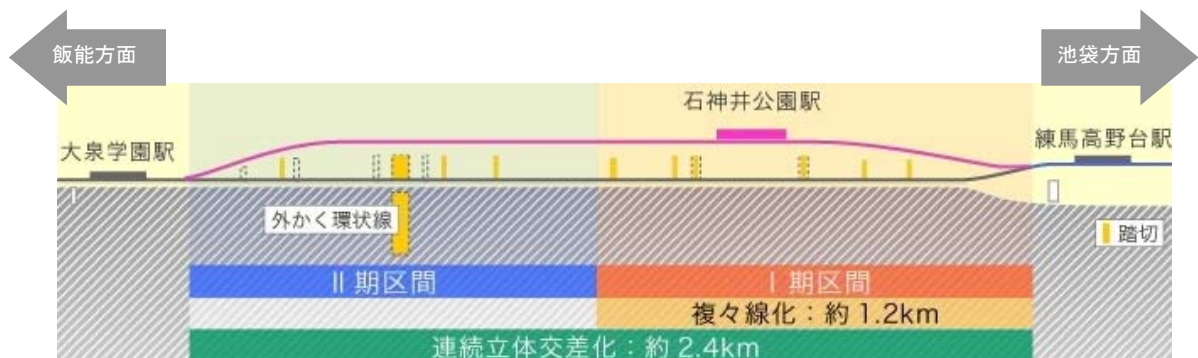
○ 石神井公園駅付近高架複々線化工事

池袋線の高架複々線化工事については、1971年の都市計画決定以来、東京都、練馬区などと協力して工事を進め、2003年3月に桜台駅（新桜台駅）～練馬高野台駅間が完成しました。

石神井公園駅付近については、2007年8月に工事着工しました。練馬高野台駅～石神井公園駅間（Ⅰ期区間・1.2km）では、2010年2月に上り線を高架化しました。

今年度は4月に下り線を高架化し、6ヵ所の踏切がなくなりました。これにより、これらの踏切による交通渋滞や事故がなくなるとともに、列車の安定運行に寄与しています。引き続き、複々線部の工事を進めてまいります。

複々線化が完成すると、石神井公園駅においてホーム2面、線路4線化され、急行電車と各駅停車が同じホームで乗り換えられるようになり、お客さまの利便性が向上します。また、事業完成後には、石神井公園駅～大泉学園駅間（Ⅱ期区間・1.2km）の高架化によりさらに3ヵ所の踏切がなくなります。



以上